

The NARA Physical Therapy Association News
奈良県理学療法士協会ニュース



公益社団法人
奈良県理学療法士協会

第142号

平成26年1月20日発行

発行：奈良県理学療法士会ニュース編集部
編集：奈良県総合リハビリテーションセンター リハビリテーション科
発行所：〒631-0846 奈良県奈良市平松1丁目30-1
事務局：奈良県立奈良病院 リハビリテーション室内
編集長：栗本 尚樹（奈良県総合リハビリテーションセンター リハビリテーション科）
ホームページ：http://www11.ocn.ne.jp/~nara_pt/index.html



◆ 目 次 ◆

巻頭言	2
会員データ紙申請廃止のお知らせ	3
奈良県理学療法士協会 T化に伴うパブリックコメント募集のお知らせ	4
公益社団法人奈良県理学療法士協会法人設立二十周年記念式典・祝賀会	4
生涯学習部からのお知らせ	5
奈良整形外科リハビリテーション勉強会のお知らせ	7
第2回研修会印象記	8
第3回研修会印象記	9
ポーリング大会に参加して	10
平成25年度第3回定例理事会議事録	11
平成25年度第4回定例理事会議事録	12
平成25年度第5回定例理事会議事録	14
会員数・施設数動向	16

巻頭言



技術向上と二重課題 (dual task)

監事 中俣 悦雄

あけましておめでとうございます。会員の皆様には、それぞれのフィールドで新たな気持ちでご活躍のことと思います。

昨年、本会は法人設立20周年の節目を迎えるとともに、公益社団法人奈良県理学療法士協会としてスタートしました。それぞれ毎日ご多忙と思いますが、本会がますます地域社会に貢献できますよう、会員諸氏のご協力をお願いいたします。

さて、私は数年前から楽器（アルトサクソ）を習っています。月2回のレッスンですが簡単に上達するわけもなく、楽しいと同時に「ちょっとした挫折」を毎回のよう感じています。レッスンで指導を受けるポイントは①口の形、②プレス（息の吐き方）、③姿勢、④指の動き、⑤楽譜の理解、⑥リズム等です。課題曲の練習中、楽譜を読むことに集中すると息継ぎを忘れて、口の形が崩れたりします。先生の指導（声）が聞こえると頭が真っ白、パニック状態に陥り、肩や指が過剰に緊張しています。（先生に指摘されて緊張していることが初めてわかるか、わかってはどうにもできないこともよくあります。）

楽器演奏の複数の課題（ポイント）を同時に実行するために、脳は視覚（楽譜を見る）・聴覚（メトロノームや自分の出した音）・触覚（口と指）等の情報を一瞬で処理し、そしてきれいな音を出すために素早く呼吸・口・手指・姿勢をコントロールしようと活発に活動します。そのため頭は短時間で著しく疲労し、1時間のレッスンでフラフラになってしまいます。しかし当たり前ですが、何度か繰り返し練習（学習）することで、技術的に向上していると実感することがあります。部分的な筋力の向上もあると思いますが、それ以上に脳の「同時情報処理能力」が向上し、複雑な行動を自動制御的に遂行できるように脳と筋の協調性が発達するのではないのでしょうか。（専門的なことはキーワード「二重課題 (dual task)」を検索して論文などを読んでください）

楽器演奏の指導を受けて強く感じたことは、技能（技術）の向上には、二重課題（または多重課題）の経験を繰り返すことが重要だということです。これは理学療法技術の向上においても同様で、技術的な研修会でテクニックを学んでもすぐにマスターできるはずはありません。常に基本を意識すること、五感をフルに活用して働くことが、自分の技術向上につながると思います。（ここまでは自分に対する二重課題）

会員の皆さん、歩容や歩行速度の改善・起居動作の改善・立位バランスの改善などを目的に、二重課題をとりいれて理学療法を実施することは日常的によくあるのではないのでしょうか。たとえば「計算しながら歩く」とか、「手をたたきながら歩く」とか、「お手玉しながら歩く」などです。このような練習中は歩行以外に集中力が分散されるためバランスが崩れやすく、転倒のリスクが大きくなるので細心の注意が必要（機能障害の評価も必須）です。二重課題の歩行練習は短時間でも歩容が改善して「歩きやすくなった」と答える患者様が少なくないように思います。

高齢の患者様では「起き上がり」や「立ち上り」、「筋力増強練習」で呼吸を止めて全身の筋肉を緊張させて頑張る方をよく目にします。とても疲労しやすく非効率的です。口頭で「息を止めないで」とか「肩の力をぬいて」と指示（これも二重課題と言える？）すると、初めはうまくできなくても次第に理解され余裕が出てくると動作能力の向上に直結します。（案外うまくできない方が多いので、注意してみると面白いかもしれません。）

実習生指導の場面でも同じようなことがいえると思います。たとえば患者様にはじめて可動域練習を行う学生は、「他動運動」の技術も経験も少ない上に、緊張しているので患者様の「表情の見る」、「痛くないか声をかける（聞く）」、「筋の緊張・被動抵抗・エンドフィールを感じる」など、当然うまくできないでしょう。

「楽器の演奏」、「理学療法」、「歩行やADL」、これらは全く異なった行為です。しかしそれぞれ共通して、完成度（技術）をもっと高めたい時（さまざまな状況に対応できるようになる）にはトレーニングが必要で、それぞれの状況にあう適切な二重課題（多重課題）が設定されるととても有効だと思います。それは「同時情報処理能力」や「ワーキング メモリ」など脳機能が強化することに繋がっているのだと思います。

自分に対しての「二重課題」をちょっと意識してみませんか？

会員データの紙申請廃止のお知らせ（重要）

（公社）奈良県理学療法士協会
会 長 尾崎 文彦
事 務 局 長 増田 崇
会員管理部長 吉田 陽亮

会員の皆様におかれましては、益々ご活躍のことと存じます。

さて、この度平成25年12月を持ちまして入会申請、異動申請、休会申請、退会申請、復会申請の紙での申請が廃止されることになりましたのでご連絡致します。

今後は日本理学療法士協会ホームページ内の【マイページ】よりログインし、お手続き下さい。

マイページアドレス：<https://www.japanpt.or.jp/jpta/my/myLoginKaiin.html>

以下に紙申請廃止の経緯や今後のスケジュール等を記載致します。何卒ご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

【紙申請廃止への経緯】

協会のシステム整備によって、各種申請がWEBから実施できるようになり、全体の申請の7割がWEBから申請が行われている現状があります。そこで、士会業務の軽減・迅速化、経費の削減のため等、紙申請を廃止することが、日本理学療法士協会理事会で承認されました。

【廃止される紙申請の内訳】

入会申請、異動申請、休会申請、退会申請、復会申請

【紙申請廃止日】

平成25年12月末日

【廃止日以降について】

廃止日（平成25年12月末）以降、web環境がないなど、紙面申請しかできない会員の皆様におきましては、日本理学療法士協会事務局へご連絡頂き、協会から用紙を個別にお送りします。必要事項を記入の上、日本理学療法士協会へ郵送をお願い致します。

【連絡先】

公益社団法人 日本理学療法士協会 事務局

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷3-8-5

T E L : 03-6804-1421

F A X : 03-5414-7913

メールでのお問い合わせ：https://www.japanpt.or.jp/18_inquiry/contact.php?cat=2

奈良県理学療法士協会 IT化に伴うパブリックコメント募集のお知らせ

公益社団法人 奈良県理学療法士協会
IT化・組織検討委員会

時下、会員各位におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本会では、会員の増加に伴う通信コストの（印刷費、郵送費）の削減を目指し、新たな情報発信の形態を検討しております。本会のホームページを軸として、情報発信は基本的にメール配信（メールマガジン（携帯可））、各種配布物は一部を除いてPDFで提供として、ペーパーレス化を目指します（27年度より本格運用の予定）。現状のままでは、これら通信コストが膨らみ続け、会の運営を圧迫しかねません。ペーパーレス化で通信コスト（印刷費、封筒代、郵送費）が数百万円削減できます。

会員の皆様には、ウェブの閲覧環境の整備や、メールマガジンへの登録といった手間がかかりますが、個人に直接迅速かつ確実に情報が届くメリットは大きいと考えています。

以上の事を踏まえて、会員各位からの意見をいただきたいと思っております。賛成案、反対案（代替案）などございましたら、ぜひともご意見をお寄せ下さい。

※ご意見は下記アドレスより、フォームで送信してください

ホームページからもアクセス可能です

アドレス：<http://my.formman.com/form/pc/e2IXdhhFmc25nD55/>

公益社団法人 奈良県理学療法士協会 法人設立二十周年記念式典・祝賀会

会長 尾崎 文彦

平成25年11月17日（日）に、ホテル日航奈良において、式典・祝賀会が行われました。たくさんのご来賓の皆様にご出席していただき、成功裏に終わることが出来ました。深く感謝しております。詳しくは記念誌に掲載させていただきます。

この二十周年を機会に、会員各位には、職業倫理の高揚を図るとともに、理学療法の学術及び技能を向上させ、もって県民の医療・保健・福祉の増進に寄与することに、今まで以上の努力をお願いいたします。

また、関係者皆様方には、今まで以上の温かいご指導ご鞭撻を賜りますことをお願いいたします。



生涯学習部から

お知らせ

第四回新人教育プログラムセミナーを下記の通り開催します。

日時： 平成26年2月2日（日） 9：30～15：15

場所： 畿央大学 KB04教室

所在地： 奈良県北葛城郡広陵町馬見中4-2-2

TEL： 0745-54-1601

参加費 奈良県理学療法士会 会員： 各テーマ1000円（計4000円）

非会員（他府県士会員を含む）： 各テーマ2000円（計8000円）

【内容】

9：20～9：40 受付

9：40～9：45 オリエンテーション

9：45～10：45 『地域リハビリテーション（生活環境支援も含む）』

（旧テーマ：地域におけるリハビリテーション）

西田 宗幹先生 秋津鴻池病院

11：00～12：00 『一次救命処置と基本処置』（旧テーマ：該当なし）

増田 崇先生 奈良県立奈良病院

12：00～13：00 昼食（60分）

13：00～14：00 『高齢者の理学療法』（旧テーマ：生活環境支援）

高取 克彦先生 畿央大学

14：15～15：15 『ティーチングとコーチング（コミュニケーションスキル含む）』

（旧テーマ：該当なし）

岡本 昌幸先生 西大和リハビリテーション病院

当日、会員確認を行いますので、必ず会員証を持参し、提示してください。

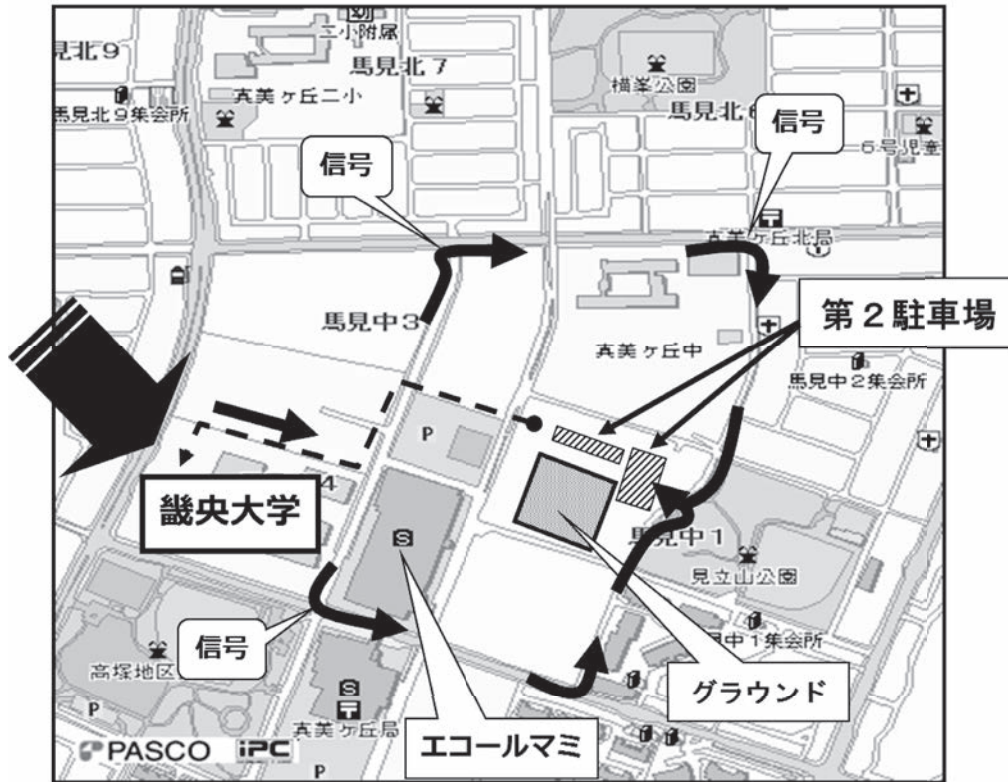
なお、平成25年度に新しく入会される方は、セミナー開催2週間前までに入会申請を完了させてください。新入会申請が終了している方は、会員証（会員番号）がなくても参加（会員料金）が可能です。

平成24年度より新人教育プログラムは内容が見直されています。詳しくは昨年12月のJPTA NEWS（274、276号）およびマイページをご参照ください。協会ホームページより閲覧できます。新・旧テーマと受講状況を確認の上、受講してください。

駐車場には限りがありますので、できるだけ公共の交通機関を御利用ください。

近鉄五位堂駅からバスにて、馬見中五丁目または真美ヶ丘センターで降りてください。

—幾中央大学 第2駐車場案内図— (当日の駐車場になります)



▨が駐車スペースになります。

申し訳ありませんが、大学までは破線のコースを徒歩でお越してください。

□ 問合せ先：

西大和リハビリテーション病院 リハビリテーション部 徳久謙太郎
〒639-0214 奈良県北葛城郡上牧町上牧3238-6
TEL (0745)71-6688(代) FAX (0745)71-1111
E-mail 生涯学習部 s.nishiyamato.reha@gmail.com

MARCH 2014

奈良整形外科リハビリテーション勉強会

後援：(公社)奈良県理学療法士協会

第1講演 「足関節外傷の評価と治療
—整形外科医の視点から—」
奈良県立医科大学 整形外科 谷口 晃先生

第2講演 「足関節拘縮の運動療法」
自庭病院 リハビリテーション科 久野 剛史先生

症例報告会2013
(様々な症例を6演題予定しています)

Date

2014年 3月 16日(日)

Time
Schedule

9:30~ 受付
10:00~ 症例報告会 1
10:50~ 第1講演
13:20~ 症例報告会 2 & 3
15:00~ 第2講演
16:30 終了

Access

Place

いかるがホール・研修室2~4

Info

当勉強会会員：無料
奈良県理学療法士協会会員：1000円
非会員：3000円
学生：500円 先着100名



THE STUDY MEETING
FOR REHABILITATION OF ORTHOPEDIC SURGERY

IN NARA
SINCE 2007

申し込みはすべてHP上のメールフォームから受け付けています。
詳細はHP(<http://naraseikeigekareha.web.fc2.com>)をご覧ください。

第2回研修会印象記

今回の研修会では、天理よろづ相談所病院 循環器内科の近藤 博和先生をお招きして、「理学療法士に必要な循環器疾患の病態、検査、フィジカルアセスメント－急性期から回復期そして在宅まで－」をテーマに講義をして頂きました。

本会の研修会では久しぶりの医師による講義ということもあり、参加されていた先生方も一層、集中されており、大変興味深く、とても良い研修会となりました。検査の実演時や心臓カテーテル機器の展示時などは熱心に見学される先生方の姿が多く見られ、参加者の心臓リハビリテーションへの関心の高さが伺えました。

内容は講義編と検査の実際編の2部で構成されており、前半は心臓の解剖や心疾患の症状や病態についての講義。後半は心エコー、心電図、心臓カテーテル検査についての実演などを行っていただきました。講義編では心疾患患者を診るうえでのポイントを病態・フィジカルアセスメントと関連付けてわかりやすく説明していただき、臨床場面においてもすぐに役立つ内容となっていました。また治療内容では心不全の病態をふまえての薬物療法や睡眠時無呼吸症候群に対しての在宅酸素療法についての話などを医師の視点で講義して頂き、非常にわかりやすく整理して理解できるようになりました。

検査の実際編では、心エコー検査機器などを用いて、普段見る事が出来にくい実際の画像を丁寧に説明していただきました。生の検査場面を見られた事で、検査に対する理解が深まり、また興味も強くなり、臨床での検査値の必要性を再度認識することが出来ました。

心臓リハビリテーションは他職種との連携・チームアプローチが重要となります。その為、理学療法士にも運動療法のみならず、薬物療法や検査・治療（薬物療法・カテーテルなど）など総合的な知識が求められるようになってきています。今回の研修会で得た知識をもとに他職種との連携を増やし、心臓リハビリテーションにもっと理学療法士が関わらないといけないと改めて感じる事が出来ました。今後、奈良県内において心臓リハビリテーションが少しでも普及するように取り組んでいきたいと思えます。

最後になりましたが、ご多忙の中、ご講義頂きました近藤先生に深くお礼申し上げます。

(研修部 中村 洋貴)



第3回研修会印象記

今回の研修は、兵庫医療大学リハビリテーション学部理学療法学科講師の宮本俊朗先生をお招きし、「その理学療法で大丈夫？運動生理学の知見から理学療法を展開する」というタイトルでご講演をいただきました。今回の研修会には幅広い経験年数の先生方が参加して下さっており、また、他府県からの参加も多数ありました。「その理学療法で大丈夫？」というタイトルの通り、自分の行っている理学療法で大丈夫なのだろうか？と再確認をするために受講された先生や、「運動生理学の知見から理学療法を展開する」というところから、新たな展開を会得する為に受講された先生など、目的は様々だったかと思われま

す。さて研修の内容についてですが、前半は「レジスタンス運動をどのように考えていくか？」「有酸素運動をどう考えていくか？」といった項目でした。ただなんとなくレジスタンス運動をしていませんか？効率の良いレジスタンス運動の方法を考えていますか？という問題提起から始まり、速筋・遅筋をより効果的に強化するために、負荷や運動スピードをどのようにすれば良いのかを学ぶことができました。また、最近では骨格筋を内分泌器官として捉えることも必要であり、筋力増強により分泌される成長ホルモンやIGF-1といったホルモンをいかに効率良く分泌させるか、といったことも考えながら処方していかなければならないことを学びました。さらに、有酸素運動について「レジスタンス運動よりも先に行うのか、後に行うのか、どのタイミングで行うと効果的なのか」ということもデータを提示していただき、効果的なタイミングを知ることが出来ました。

後半は、実際にわれわれが関わることの多い運動困難者に対し、前半に話していただいた内容をどのような方法で取り組めば良いのか、を話していただきました。1つの方法として筋電気刺激法を用いることで、筋線維の動員様式に及ぼす影響や、エネルギー代謝の変化などを具体的に知ることが出来ました。また、NEAT (Non-Exercise Activity Thermogenesis：非運動性活動熱産生) つまり日常の生活活動で消費されるエネルギーをいかに増やすことが大切なのかということも教えていただきました。一日の生活の中で、定期的に時間をとって運動をすることよりも、一回の運動量は少なくとも出来るだけ多く運動や活動をすることで病気の予防につながるということを知りました。最後には最近の運動生理学的知見ということで、多チャンネル筋電図を用いることで、筋のどの部分を使っているのかを時間経過に伴い知り、運動単位の動員動態を知ることが出来るようになってきていることを教えていただきました。

今回の講演を聴講し、われわれ理学療法士が日頃多用しているレジスタンス運動や有酸素運動について、再度考え直す良い機会となり、また明日から臨床で患者様、ご利用者様と関わる際に少し違った視点で取り組むことが出来るのではないかと思います。今後理学療法士が様々な分野で活躍していく為には、ただ単に筋力を増強する、関節の可動範囲を拡大するといった単純なものではなく、それらをいかに効果的にまた病気になる前の予防的に行っていけるかを考えなければならぬことを、あらためて考えることが出来ました。

大変お忙しい中、非常に前向きになれる内容を講演いただいた宮本先生に深くお礼申し上げます。また、たくさんのご参加いただいた奈良県理学療法士協会の皆さまにも感謝申し上げます。

最後に、研修部は、今後も会員にとってより良い研修会を開催していきたいと考えております。是非呼んでほしい講師の先生や取り上げてほしい内容などありましたら、研修部までご一報ください。

(研修部 河村 隆史)



ボーリング大会に参加して

高井病院 小倉 温子

先日、奈良県士会PT・OT・ST合同ボーリング大会に参加させていただきました。

参加するのは初めてで、職場の同期3人緊張しながら会場入りしました。

知り合いの少ない中での参加で、不安もありました。しかし、大学3年の評価実習でお世話になった先生と同じレーンで再会するなど偶然も重なり、楽しくボーリングをすることができました。

また、普段関わることのない、他病院の先生方ともお話することができるなど、良い機会だったと思います。

残念ながら、優勝することはできませんでしたが、PT部門1位ということで、大変満足しています。

来年はぜひ優勝目指して、頑張りたいと思います!!

このような楽しい行事を開催していただきありがとうございました。



平成25年度第3回定例理事会議事録

日時：平成25年7月6日（土） 15：40～17：25

場所：奈良県理学療法士協会 事務所

出席者：理事 尾崎、石橋、増田、佐藤、西田、
松村、廣池、中村

監事：門脇、北村

議事録署名人：尾崎、門脇、北村

欠席者：田平

書記：中野

- 議事：1. 会長行動報告
2. 会員異動承認
3. 各局・各部・委員会報告
4. その他

1. 会長行動報告（尾崎会長）

- 5/22 奈良県医療推進協議会役員会
/26 畿央大学 開学10周年記念式典・祝賀会
/30 事務所年度末大掃除
6/1 (公社)日本理学療法士協会 第1回近畿ブロック委員会
/1 なら新人研修システム『呼吸循環コース』
情報交換会
/2 生涯学習部 第一回新人教育プログラムセミナー
/8 (公社)日本理学療法士協会 第42回定時総会
/8 (公社)日本理学療法士協会 交流会
/19 20周年記念事業準備委員会 第5回会議
/21 理学療法啓発部 会議
/25 調整会議
/30 第23回奈良県理学療法士学会・表彰状授与式
7/6 定例理事会 第3回

2. 会員異動承認

平成25年5月19日から7月6日までの会員異動が理事全員に承認された。

3. 各局・各部・委員会報告

- 1) 第4回訪問リハビリテーション地域リーダー会議（佐藤理事）
・5月16日、17日に開催。介護保険部の櫻井先生と相談し、堀先生（訪問看護ステーション かの木）が出席。事業報告と実務者研修会の方後の方向性について話し合った。
・実務者研修会において、今年度は関連職種を交えた研修会を開催していく意向である。管理者研修会においては、参加条件（実務者研修修了

者、臨床経験4年以上等）を設ける。管理者研修会修了後にはフォローアップ研修会を開催していく予定である。

- ・実務者研修会の履修登録を行う為、過去3回実施分の名簿を協会へ提出する。
- ・日本訪問リハビリテーション協会により認定訪問療法士制度が創設された。

2) 近畿ブロック役員会議

- ・学術局（松村理事）：松村理事が代理で出席。奈良県の報告を行い、監査も無事に修了。会員登録において10台のLAN接続を行ったことに対し、必要性を問われた。京都・大阪・兵庫士会から新着情報の報告があった。託児所については設置していく方針である。学会誌においてはISSN登録を行っている。
- ・社会局（佐藤理事）：大阪開催のバリアフリー展にて、近畿ブロックのブースを3日間出すことが検討された。
- ・会長・事務局（尾崎会長）：山口議員に関する話、近畿学会の税金に関する話があった。

3) 広報局（松村理事）

- ・埼玉県士会の坏先生から文献検索した際、奈良理学療法学会の見開き部分に年数の記載がないとの問い合わせがあった。
⇒年数の表記方法については学術誌部で検討してもらう。

4) 第24回奈良学会準備委員会（中村理事）

- ・平成26年6月29日にかしはら万葉ホールにて開催することが決まった。

5) 20周年記念事業準備委員会（西田理事）

- ・招待状や記念誌等の予算見積を中谷印刷へ依頼している。予算が決まり次第、報告する。8月末から9月にかけて招待状を送る予定である。招待者に税理士1名と行政書士2名を加える。議員の招待者は選挙後に決める。
- ・県の表彰に関しては、該当者リストを会員管理部へ問い合わせる。

6) 奈良県脳外傷友の会（西田理事）

- ・リハビリテーション講習会が奈良教育大学にて開催され、西田理事がスタッフとして運営に参加する。チラシがあればHPに掲載する。

7) 第21回公開講座準備委員会（佐藤理事）

- ・公開講座の日程と内容が以下の通りに決定した。

日時：平成25年9月8日（日） 13時～16時

会場：奈良県社会福祉総合センター 5階研修室B

テーマ：アンチエイジングの秘訣

…それは「脚から！」

講演：橋本雅至 先生

(大阪河崎リハビリテーション大学 教授)
「アンチエイジングのための運動の視点
～自己チェックとエクササイズの方法～」

- ・講演の前後で啓発部事業（ビデオやパネル展示等）を行う予定である。体力測定の実施を検討していたが、機材が高額であったため実施を見合わせる。

4. その他

1) 学会の運営費について（尾崎会長）

- ・三役での話し合いにより以下の内容が決定。
 - 1、当日の運営委員は、参加費無料と昼食支給のみで、活動費は支給しない。
 - 2、運営費はあくまで「打ち上げ」を目的とする。
現状3万円としているが、学会規模の拡大などを考慮して、10万円とする。
 - 3、「打ち上げ」に参加できない委員に対しての配慮は、学会長の判断に委ねる。
ただし、運営費10万円の範囲内で対応する。
- ・理事会にて以下の内容が決定。
 - 1、次年度から学会には、「打ち上げ」を目的

とした費用10万円（一人5千円を超えない範囲）を運営費として充てる。

- 2、「打ち上げ」に参加できない委員に対しての配慮は必要ない。
- 3、次年度から公開講座に関しても、「打ち上げ」を目的とした費用3万円を運営費として充てる。ただし、打ち上げを行わない場合は配らずに返す。

2) 郵送に関して（増田理事）

- ・中谷印刷に業務集中しているが、今後、問題がないか状況をみていく。5年毎に他業者との見積もりを比較し、業務分散も検討していく。

3) IT化について（尾崎会長、増田理事）

- ・IT化を目指し、IT業者と話を進めている。次回役員改選の平成27年度からペーパーレス化とIT化への移行を目指す。
- ・IT化・組織検討委員会を立ち上げ、委員長は尾崎会長が務めることが決定された。
- ・大きな変更点に関しては、理事会へ答申を出し、理事会の承認が得られた時点でパブリックコメントを求める。

以上

平成25年度第4回定例理事会議事録

日時：平成25年9月7日（土） 14：45～17：30
 場所：奈良県理学療法士協会 事務所
 出席者：理事 尾崎、石橋、佐藤、松村、廣池、中村
 監事：中俣
 議事録署名人：尾崎、中俣
 欠席者：増田、西田、田平
 書記：中野
 議事：1. 会長行動報告
 2. 会員異動承認
 3. 近畿ブロック役員会報告
 4. 各局・部・委員会報告
 5. 役員派遣に関して
 6. その他

ナー（代：西田）
 /14 奈良県臨床検査技師会元会長、山中氏 叙勲受章祝賀会（代：佐藤）
 /17 なら新人研修システム『呼吸循環コース』修了証授与式
 /20 高の原中央病院 創立40周年記念式典・祝賀会
 /20 理学療法士講習会講師 食事会
 /27 財務部 会議
 /28 研修部 第1回研修会
 8 / 2 理学療法啓発部 会議
 / 3 (公社)日本理学療法士協会 第2回近畿ブロック委員会・懇親会
 / 7 県障害者介護給付費等不服審査会 総会
 /16 理学療法啓発部 会議
 /21 新人研修委員会 会議
 /27 調整会議
 9 / 5 20周年事業準備委員会 第6回会議
 / 7 定例理事会 第4回

1. 会長行動報告（尾崎会長）

- 7 / 7 山口かずゆき 個人演説会in大阪
- / 8 山口かずゆき ミニ個人演説会in奈良
- / 9 奈良介護の日2013実行委員会 第2回
- /10 ブロック活動推進委員会 会議
- /14 介護保険部 第2回なら介護予防推進セミ

2. 会員異動承認

平成25年7月7日から9月7日までの会員異動が理事全員に承認された。

3. 近畿ブロック役員会報告

1) 士会長、事務局（尾崎会長）

- ・参議院選挙に関する報告があり、山口かずゆき議員当選後は、党を問わず色々と打診の連絡がきている。
- ・会員数9万人の会が、7万5千票も獲得したことに関し、東京界限では話題となっている。
- ・次期、参議員選挙では、もう一名の擁立を検討している。
- ・協会の選挙制度に関して、1万票という投票率の低さが指摘され、会員の選挙や政治への意識の低さが課題として挙げられる。
- ・協会と各都道府県が密に連絡を取り合えるよう、協会の中に士会担当理事が新設された。
- ・新しい会館に関しては、事務局機能と会議を開催できるスペースを備えた場所を検討している。
- ・各士会において、総会参加者が少ないことへの対応に関して報告があった。
- ・平成26年度診療報酬改定に対し、協会が出した要望書に関しては、MLにて報告する。

2) 学術局（石橋理事）

- ・第53回近畿学会に関して、京都市会から報告があった。
- ・一般演題登録は140題で、査読が終わり、最終決定は審査中である。
- ・会員数の増加に対し、参加者数と演題数がそれほど増えていないことが課題として挙げられた。
- ・今大会は託児所を用意し、利用には事前登録が必要となる。
- ・国際会館のメインホールの工事が終了し、当日、メインホールにイベントが入ったため、受付の混雑が予想される。
- ・第54回近畿学会は11月に大阪国際会議場にて開催予定である。
- ・ISSNの登録に関して、今大会より新しい番号へ変更を行う。
- ・臨床実習指導者研修会に関して、今年度は滋賀にて年度末に開催され、来年度は奈良にて開催予定である。
- ・研修会の参加費に関して、会員外の参加費の設定は日本理学療法士協会の方針にならって、会員と差をつける。近畿学会における会員外の参加費に関しては、従来通りで様子を見ていく。
- ・近畿学会における講師料の納税に関して、士会を通して納税することが難しいため、士会長会

議で検討を行った。検討の結果、解答は出ず、協会へ問い合わせを行う。

全国の学術大会が第50回大会を最後に文化会となることを見据えて、今後の近畿学会の在り方を2年の間で検討していく。

3) 社会局（佐藤理事）

- ・各士会よりPT週間の報告があり、例年通りの内容が多かった。本会は川柳を実施し、HPに掲載したことで多くの募集があったことを報告した。
- ・大阪開催のバリアフリー展にて、大阪府士会がブースを設けている。近畿ブロックとしては、来年度からブースに各県のリーフレットや広報誌等を並べていき、大阪府士会に協力していく。本会においても、会より何名か派遣し、見学へ行く。

4. 各局・部・委員会報告

1) 第21回公開講座準備委員会（佐藤理事）

- ・備品に関して、作製したボールペンは使用に不備があるので配布しない。当日使用するDVDディスクの破損に関しては、パソコンへ取り込み対応を行う。
- ・ケアマネ協会の会員へも広報を行っている。
- ・運営費は使用し、反省会を兼ねた打ち上げを後日、理学療法啓発部と合同で行う。

2) 研修部（石橋理事）

- ・第2回研修会において、医師に講師を依頼し、180分の講義で講師料を4万円と設定している。講師料に関して、講師が医師の場合、従来通りの講師料で良いのかどうか。
⇒理事会で決定すると案内が遅れるため、三役で話し合い、今回の講師料は5万円と決められた。
⇒理事会での検討の結果、今年度の講師料に関しては、従来通りの料金設定とする。来年度以降の講師料設定に関しては、日本理学療法士協会の経理規定を参考にし、研修部において1コマ（90分）当たりの料金表を作成してもらう。また、生涯学習部においても新プロにおける講師料の基準を作成してもらう。
- ・研修会の参加費に関して、本会では楽天カードの提示で割引を実施しているが、受付時に小銭が多くなり、業務が繁雑化してしまう。研修部より、切の良い額で設定できないかという申し出がある。
⇒検討の結果、年度途中での参加費の変更は行えないので、今年度研修会における楽天カード普及率の動向を確認し、割引制度継続の有無を

理事会にて検討する。

3) 財務部 (中俣監事)

- ・講師料の税金に関して、月遅れでの支払いになっている場合がある。税理士より、財務部へ講師料の処理を速やかに行い、税金の支払いが遅れないようにして欲しいとの指摘を受けている。
- ・事務所の公益割合を決定するために、月々の事務所の使用頻度を総務部で把握できるようにしてもらいたい。
⇒MLにて、今年度の事務所使用記録の記載を依頼する。
- ・中間監査に関して、10月の理事会終了後に実施する予定。詳細はMLにて報告する。

4) 社会局 (佐藤理事)

- ・平成25年度在宅医療推進事業の要望書に関して、今年度は本会から要望はないと返答している。
- ・郡山市において、多職種共同チームを組んで研修会を開催する取り組みが進んでいる。
⇒中村理事が参加予定である。可能であれば、郡山市から本会へ推薦依頼を出してもらい、本会から参加する形をとる。

5. 役員派遣に関して (尾崎会長)

- ・以下の各事業への派遣に関して、理事全員に承認さ

れた。

倫理研修会：門脇監事

災害リハ研修会：西田理事

看護協会講師依頼：徳久先生

選挙管理委員依頼：小川先生

6. その他

1) 衆議院議員田野瀬太道君と明日の日本を語る会に関して (尾崎会長)

- ・10/20に開催され、本会より、尾崎会長、石橋理事、松村理事の3名が出席予定。会費に関して、2名は招待となり、1名分は本会より支給することが決められた。

2) 奈良県野球肘検診に関して (佐藤理事)

- ・11/4に大和郡山市の体育館にて、参加予定者500名を対象に野球肘検診を実施する。
- ・NPO法人奈良野球少年を守る会から本会へ趣意書と協賛金の依頼がきている。協賛金は1口1万円でA4サイズ4分の1の広告がパンフレットに掲載される。
⇒検討の結果、本会より3口(3万円)協賛することが決められた。広告の内容は理学療法啓発部へ依頼する。

以上

平成25年度第5回定例理事会議事録

日時：平成25年10月19日(土) 15:10~17:35

場所：奈良県理学療法士協会 事務所

出席者：理事 尾崎、増田、佐藤、松村、西田、
廣池、田平、中村

監事：門脇、中俣

議事録署名人：尾崎、門脇、中俣

欠席者：石橋

書記：中野

- 議事：1. 会長行動報告
2. 会員異動承認
3. 各局・部・委員会報告
4. 記念式典に関して
5. IT化・組織検討委員会報告
6. 全国事務局長会議報告
7. その他

1. 会長行動報告 (尾崎会長)

9/8 第21回公開講座

／13 理学療法啓発部 反省会・打ち上げ

／14 県医療推進協議会等主催「県民の安心と安全を守る大集会」

／16 なら言語聴覚の日のつどい

10/3 IT化・組織検討委員会 第1回

／8 調整会議

／10 20周年事業準備委員会 第7回会議

／18 理学療法啓発部 会議

／19 定例理事会 第5回

／19 なら新人研修システム「装具・車いすコース」
懇親会

2. 会員異動承認

平成25年9月8日から10月19日までの会員異動が理事全員に承認された。

3. 各局・部・委員会報告

1) 学術誌部 (田平理事)

- ・奈良理学療法学への学会学術誌原稿掲載について、学会演題全てを学術誌へ掲載するのかどうか学術誌部で検討を行った。
奈良理学療法学への学会学術誌原稿掲載がなくなった際のメリット・デメリット

[メリット]

- ・査読を受けていない学術誌原稿の掲載がなくなり、学術誌の質の担保につながる

[デメリット]

- ・学術誌のページ数が減少するリスクが生じる
 - ・メディカルオンラインからの収入が減る
- 学術誌部の意見としては、紙面が減少するリスクの方が高いので、当面は今まで通り掲載していく方向で考えている。学会準備委員会でも検討した結果、学術誌の質の担保の方が大切であるため、学術誌には抄録として掲載する案が出された。
- ⇒学術誌部での検討の通り、学術誌への掲載は当面、従来通りの方法で行う。今後の方針は、学術局長と相談のうえ、学術誌部が主動し協議していく。

2) 第21回公開講座準備委員会 (佐藤理事)

- ・9/8に開催され、内容としては、講演・日本理学療法士協会ビデオ放映・川柳掲示・パネル展示を行い、大きなトラブルなく無事終了することができた。
 - ・参加者は一般が13名、会員が14名、計27名であった。今回、テーマも非常に良く、参加者を見込んでいたが、当日の参加者は少なかった。広報の方法に何か問題があったのではないか。
- ⇒今回、広報が遅かったことも要因の一つである。広報の方法としては、開催する市町村・自治会・老人会等への呼びかけも効果的であると思われる。準備する側の努力不足ではなく、今後は開催場所・日時・広報にもう一工夫していく必要がある。

3) 表彰審査委員会 (尾崎会長)

- ・以下、平成25年度学術奨励賞学会長賞・新人賞および功労賞が理事会に答申され、答申通り決定された。

[平成25年度奈良県理学療法士会学術奨励賞]

学会長賞	松本 大輔	会員
	(畿央大学)	
新人賞	佐々木 はるな	会員
	(奈良県立奈良病院)	
[功労賞]	北村 亨	会員
	(奈良県立五條病院)	
	鈴木 健夫	会員
	(介護老人保健施設 さんとびあ榛原)	
	中俣 悦雄	会員
	(済生会御所病院)	
	長岡 誠吾	会員
	(奈良西部病院)	

4. 記念式典に関して (西田理事)

- ・現在、86名より参加の返事を頂いている。当初、200名前後の出席を想定していたが、出席者数は100名前後となる見込みである。
- ⇒部長や部員へ本会の思いをきっちりアナウンスできなかった。ますます本会も大きくなっていくので、事あるごとに会員に対し、本会の思いをしっかりと伝えていくことが今後の課題である。
- ・式典には県知事も出席して下さり、表彰を執り行う。市長は欠席で代理出席はない。
- ⇒本会から出席に関し、問い合わせは行わない。
- ・他団体からは医師会、病院協会、OT・ST士会、老人保健施設協議会、社会福祉協議会、ケアマネ協会、介護福祉士会、放射線技師会、臨床検査技師会等が出席予定。
- ・出欠に関し、未返答の業者に対しては、本会から問い合わせは行わない。
- ・各養成校には、理事長・学長各々に案内を送付せず、代表にのみ送付している。
- ・記念式典の開催に関し、本会も大きくなり、運営や費用の面で5年毎の開催は難しい。⇒10年毎の開催が望ましい。

5. IT化・組織検討委員会報告 (尾崎会長、増田理事)

- ・HPを軸としたシステムにて運営していくことで、通信コストの削減や広告収入の取得等を目的とする。諸経費を削減することで、公益事業や事務員の人件費等に充てることができる。
- ・スケジュールとしては、今年度中に答申を出し、1年間の移行期間にて、会員へペーパーレス化やメルマガへの登録等のアナウンスを行っていく。IT化への移行に対する意見収集として、パブリックコメントを出し、HP上からコメントを募る。パブリックコメントを募っている間に、委員会にて運用の準備を進め、26年度からシステムの運用を開始する。27年度からの本格運用を目指す。
- ・Webのシステムに関しては、従来のHP機能に加え、メルマガ機能・カレンダー機能・フォーム機能を加えることで、会のイベント・会議等を一括してHPにて確認することができる。その他、IT化への要望として、広告管理機能(求人、料金徴収、掲載期間の管理)、事業参加管理機能(申し込み、料金徴収、領収書発行)、ブログ機能等を検討している。
- ・門協監事より、IT化を進めるにあたり、一部会員の間で利益を受けられない恐れが生じるのではないかととの質問があった。
- ⇒次回の協会ニュースでIT化について会員へ報告し、Web環境がない等の申し出や苦情があれば、個別に対応していく。

- ・門脇監事より、IT化によるコスト削減、IT化の維持にどのぐらいの費用が見込まれるのか、予算を具体的に算出し、理事会に答申を出すよう申し出があった。

⇒委員会の中で具体的な予算を定め、理事会へ答申を出す。また、複数の業者にて見積を取り、業者を選定していく。

6. 全国事務局長会議報告（増田理事）

- ・ 9 /22に全国事務局長会議が開催され、増田理事が出席。
- ・ 各士会より、実務全般を把握している事務局長に集まってもらい、日本理学療法士協会との接点を作ることが本会議の目的であった。
- ・ 事前に提出議題が求められ、本会からも1、2題の提出を行った。提出議題の回答は、士会長会議にて行われる。
- ・ 協会の役員紹介と今後の事業展開についての報告があった。主な事業としては、学校への理学療法士派遣、予防領域での理学療法の確立、訪問リハセッションの実施、理学療法士に関するイメージ戦略、会員への情報提供等が挙げられる。
- ・ 日本理学療法士協会の職員は40名程度であり、これ以上の増員は行えない。手が回らない業務に関しては、できる限り外部へ委託していく方針である。
- ・ 会費の納入期限に関して、6月末に会費の引き落と

しが行われるため、4～5月の運営資金がない。積立金を運用することで補っているが、今後は楽天カード加入者の会費引き落とし期限を、4月に早めることで対応していく方針である。

- ・ 今年度の12月末で、会員異動申請はWeb一本化となる。
- ・ 休会期間に関して、1年更新となっていたが、手続き未了の会員が多数おられ、退会者が多く出てしまう可能性があるため、特例措置として、休会期間経過対象者へ休会期間を1年延長することが決められた。

7. その他

- 1) 3団体合同訪問リハ実務者研修会について（佐藤理事）
 - ・ 今年度は12/25（日）と1 /26（日）の2日間で開催される予定である。詳細は後日、報告する。
- 2) 理事会の日程について（尾崎会長）
 - ・ 以下の通り、理事会の日程が決められた。

第8回定例理事会
平成26年1月18日（土）14：30～
第9回定例（拡大）理事会
平成26年2月9日（日）10：00～
第10回定例理事会
平成26年3月8日（土）14：30～

以上

会員数・施設数動向

平成25年11月30日現在

	施設数	会員数
施設会員	137	870
自宅会員	105
総会員数	975名	

※ 施設数には自宅会員を含んでいません。

【理学療法士募集】

理学療法士が行うリハビリ中心の半日デイサービスです。

勤務形態：パート職員

勤務日：週4回 13:00～16:00

休日：土・日・祝日 夏季・冬季休業日

勤務地：リハビリトゥモロー香芝（香芝市）

賃金：時給2,000円

勤務開始：平成26年4月

(株)トゥモロー健康科学 リハビリトゥモロー

奈良県大和高田市大谷355-2-102 電話：0745-23-3113 担当：宇保

理学療法士募集（産休代替 嘱託職員）

給与：経験5年未満 219,000円 経験5年以上 254,200円

通勤手当・超過勤務手当あり 6月及び12月特別報酬あり

勤務時間：8:30～17:15（休憩時間60分含む）土・日・祝休み

契約期間：採用の日から平成26年3月31日

※産休代替のため、契約更新の可能性有り

福利：雇用・労災・健康・厚生年金加入 有給休暇・夏期休暇あり

当院入院患者さんへの院内でのリハビリテーション

見学歓迎 詳細はお問い合わせください（総務課庶務経理係まで）

奈良県立三室病院

〒636-0802 奈良県生駒郡三郷町三室1-14-16 電話 0745-32-0505



(常勤・非常勤) 理学療法士募集

～ Life is Beautiful ～ ともに手をつなぎ ころろ輝く人生を 創造しよう

児童福祉法に基づく児童福祉施設であると同時に医療法上の病院、障害者総合支援法に基づく療養介護です。医療・看護・療育・教育・リハビリテーション等で総合的に障害を持つ人たちを支え、重い障害を持つ人が普通のライフステージに立つことを目的としています。

勤務地：奈良市鹿野園町 1000-1
名称：社会福祉法人バルツァ事業会
 重症心身障害児学園・病院
 バルツァ・ゴードル

連絡先：0742-21-7111

応募：履歴書を送付ください。おってご連絡致します。
 ※一度、見学にお越しください。

就業時間：9：00～17：30

年間休日：117日

給与 (理学療法士)

基本給 180,400円から

資格手当 17,000円

支給目安 197,400円から

※経験者優遇

住宅手当 20,000円

(条件あり)

通勤手当 上限50,000円

賞与 年2回 4.2ヶ月(平成24年度実績)

※非常勤 時給 2,000円～

【地域包括ケアシステム・プロジェクトメンバー募集】

“急性期から在宅へ” 10年後スタンダードとなる在宅回復期システムの構築を目指して！
 『非日常から Re: 日常へ』 在宅自立のために、自宅と施設、地域を連携・融合をさせて
 最後まで自宅で自分らしく安心して暮らせる地域環境創りを一緒に考えて見ませんか？

募集人員：理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師

勤務先：★いこいの家訪問看護ステーション。

★リハビリ特化型地域密着型小規模多機能事業所 いこいの家26 (2012年4月開設)

★まちの保健室：地域相談室、サテライト型リハビリセンター (開設準備中)

●各種保険完備、勤務応相談、給与当社規定による、能力加算有。お気軽にお問い合わせ下さい



いこいの家訪問看護ステーション 株式会社ライフケア創合研究所 担当：湯川
 〒630-0243 奈良県生駒市俵口町814番地1 ハイネス生駒302号
 TEL：0743-70-8300 e-mail：ikoi@kcn.jp http://lifecarejp.com/
 施設と地域をつなごう！ならリハビリテーションネットワークメンバー募集中

